平成２７年度　　事務事業評価シート

章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	Ⅲ	定住の地を求める人の勧誘と定住支援
目標		移住定住の促進に努めるとともに、交流人口の増加を図る。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	ホームページ情報などに対する相談件数	件	－	17	22	19	28	27	43		30

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　移住・定住の受入体制の充実	①　移住・定住相談体制の整備	・首都圏等からの問い合わせに対し、迅速かつ有益な情報提供を行うため、移住相談窓口のワンストップサービス体制により、きめ細やかに対応します。 ・宅地や住宅などの需要に対応するため、民間を含めた情報提供に努めます。 ・定住を促進するためには、地域の理解が必要なことから、地域住民との連携を図ります。 ・ショートステイに対応するため、ウイークリーマンションなどの確保を図ります。
1-②	1　移住・定住の受入体制の充実	②　移住・定住の情報提供	・市や北海道等のホームページにおける移住・定住情報において、まちの概要やセールスポイントなどをPRするとともに、東京登別げんきかいなどの機会を利用し、情報提供に努めます。
1-③	1　移住・定住の受入体制の充実	③　移住体験ツアーやリピーターの受入れ	・首都圏の団塊の世代をターゲットとして、広範な学習や体験などを組み入れたツアーを企画し、移住誘致の促進を図ります。 ・リピーターの増加を図るため、観光事業と連携しながら、広域的な連携に努めます。
2-①	2　人口流出の阻止・都市機能の充実	①　定住自立圏の形成	・定住自立圏形成協定を締結した室蘭市と相互に役割を分担し、連携を図りながら、都市機能を構築・充実させ、くらしやすいまちづくりに努めます。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別
1	1-①	移住促進事業 62311001	総務部	企画調整G	H17	－	ソフト	一般会計

Plan ・ Do

事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
定住人口や観光客が減少傾向にある中、登別市の概要、イベント、セールスポイント等の情報を発信するとともに、移住体験などを通じて長期滞在を推進するほか、観光等による交流人口の増加を図るなど移住定住の促進を目的とする。	H25	移住希望者等	北海道への移住促進や民間による移住ビジネスの創出などを目的とする「北海道移住促進協議会」に参加し、協議会が発行するパンフレット等を通じて当市の魅力を情報発信した。また、市独自の移住情報パンフレットを作成し、移住相談ワンストップ窓口を継続設置し、移住に関する各種問い合わせへの対応や移住体験の受付手続きなどを行うほか、１ヵ月以上の滞在に対応するため、市内にある不動産物件について関係団体と連携し、移住体験希望者のニーズに合った情報の提供を行った。	北海道移住促進協議会設置要綱、地域おこし協力隊推進要綱（平成21年３月31日付け総行応第38号総務事務次官通知）、登別市地域おこし協力隊員設置要綱
	H26	上記のとおり	上記のほか、移住情報パンフレットを改訂するとともに「北海道暮らしフェア」に参加した。	上記のとおり
	H27	上記のとおり	上記のほか、本市の魅力を適切に伝えるため、移住希望者の生活スタイルに応じた公共施設や店舗、病院などの生活基盤となる施設を紹介する体験型パッケージツアーを試行する。	上記のとおり

事業の成果、目標：指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
移住相談ワンストップ窓口利用件数	件	27	43	50	55	55	55
移住体験者数	人	13	96	100	200	200	200

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】：名称	H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	82	683	563	984	984	984
合　計	82	683	563	984	984	984

Check

第２期基本計画第３次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
H25以前	移住体験者のニーズを的確に把握するため、移住体験実施者へアンケートを送付する等のフォローアップを実施し、今後の事業展開に活かした。また、当市のＰＲ及び移住体験事業のＰＲを効果的に行うため、情報発信の内容の検討やプロモーションの実施について、検討を行った。	改善	登別市の魅力を発信し、長期滞在の推進や交流人口の増加を目指すことは、移住定住の促進を図るうえで必要である。 また、移住定住人口のさらなる増加を目指すため、移住促進事業の大幅な見直しを検討する。
H26	移住情報パンフレットを改訂するとともに大阪市で開催される「北海道暮らしフェア」への出展を行う。		
H27	本市の魅力を適切に伝えるため、移住希望者の生活スタイルに応じた公共施設や店舗、病院などの生活基盤となる施設を紹介する体験型パッケージツアーを試行する。		

Action

今後の事業の方向性【H28以降】
引き続き、移住相談への対応や各種イベント等で登別の魅力を発信するなど事業の継続を図り、移住定住人口のさらなる増加を目指し、新たな取組の実施に向けて検討を進める。